

豊かな生活

平田機工巻 社長 米田康三よねだ こうぞう

今から三十三年前、まだ二十代の半ばにアメリカの大学院に留学していた頃、世界は中東戦争を契機とする石油危機後でひっくり返っていました。会社が送金してくれる月四〇〇ドル弱の生活費で暮らす私には、大学の食堂は食べ放題でメニューも豊富、食事を皿に大盛りにし、食べ残しを平気で捨てるアメリカ人は大変贅沢ぜいたくに思えました。一般家庭の生活でも、外が雪でも家中暖房が入り暖かく、ハンカチや雑巾の代わりに紙タオルをほとんど使い、赤ちゃんのオムツも当時の日本ではほとんど見かけることがない紙オムツでした。

そんなアメリカ人の生活は、豊富な資源の大量消費に支えられていましたが、私たちは当時のアメリカ型の豊かな生活を夢にみてがむしやらに働き、高度成長を経て世界第二位の経済大国になりました。ところが、今直面しているのは、二酸化炭素排出による地球温暖化と気候の異常な変動、原油や穀物等の資源価格の高騰等、地球は有限な資源であることを思い知らされる事実です。

私の会社は自動車やフラットパネル等の生産設備を作っていますが、これからは地球の資源を大事に使いながら、人間の未来の新しい豊かな生活の創造に参画できるような社会的存在になりたいと願っています。私も今年還暦を迎えて、地球や人類の歴史からすれば残された命はあと数秒の単位かもしれません。その短い人生を、そういう夢に捧げたいと思うこの頃です。

5月25日

2009年トップが綴る 一日一話

仕事の指針・心の座標軸

私の夢 会社の夢

PHP研究所 編